

令和  
8  
年度

# いよばのちり 6



みなさん、  
いっしょに べんきよう  
しましょうね。



ことばのきまり  
イメージキャラクター  
ことちゃん

## 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 一 熟語の構成……………        | 1  |
| 二 文と文とのつながり……………    | 4  |
| 三 つなぐ言葉の使い分け……………   | 5  |
| 四 漢文に親しもう……………      | 6  |
| 五 場面に応じた言葉づかい……………  | 8  |
| 六 複合語……………          | 12 |
| 七 似た意味の言葉の使い分け…………… | 14 |
| 八 表現をくふうする……………     | 15 |
| 九 六年間の復習……………       | 16 |

表紙 岡崎

カット 幸田

みよし

豊橋

巻頭 優子先生

成田 信子先生

嶋田 伸子先生

大須賀貞治先生

吉田 祐示先生

河合 桂子先生



# 一 熟語の構成

【書 P44～P45】

漢字三字の熟語の構成には、

① ○—○○ 新学期

② ○○—○ 児童会

③ ○—○—○ 小

の なも、あります。

然 の語+二字熟語

級会 二字の語+一字の語

海 一字の語が三つならぶ

(一) 次の熟語はどう分けられますか。

の 中の①②③の記号をいれよう。

1 高学年 ( )

2 食住 ( )

再発行 ( )

4 国有林 ( )

5 温度計 ( )

心算 ( )

7 想像力 ( )

8 好景気 ( )

9 ト ( )

熟語の構成を的確にとらえると、その言葉がどんな意味をもっているのかを正しく理解することができます。

挑戦してみよう



静岡県総合教育センター  
言葉の部屋「三字熟語」

(二) 四字以上の熟語の構成には、

次の熟語はどう分けられるか、  
のようになにを使つて書きましょう。

〈例〉卒業文集

卒業—文

1 特急列車

東西南北

3 理解不十分

4 地球温暖化

5 未確認生物

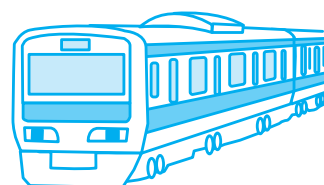
国立美術館

7 空想科学小説

8 移住高気圧

9 学校保健委員会

10 防災強化地域





「君・手・店」などは、他の単語の下について意味をそえ、新しい単語を作るのに使われます。「性的・化」のように、漢語の名词の「性」について、そのようなものを表すものがあります。

(三) 次のことばのあとに、下の□の漢字がなの中から合うものを選んで書きましょう。

1 神

2 み

3 運

4 く

5 寒

6

7 体

8

館 気 君 感 屋 様

(四) 次の漢語のあとに、下の□の中から合うものを選んで書きましょう。

1 共通

2 科学

機械

4 芸術

5 代表

6 可

7 映画

8 国際

9 野生

化的

化  
「～のように変える」  
「～のように変わる」

性  
「～の性質」  
「～の程度」

的  
「～のような」  
「～の性質をもつ」





① これは私が焼いたクッキー。

② 私が焼いたクッキーはおいしかった。

①と②の文はそれぞれ③と④の文とつながっています。

③ 私がクッキーを焼いた。これはそのクッキーがおいしかった。

④ 私がクッキーを焼いた。それはクッキーがおいしかった。

修飾の関係が長くなった。

次の文章を読んでみましょう。

⑤ ぼくは六時に起きた。朝食を食べたくをして、七時半に家を出た。そして八時に学校に着いた。

では次の⑥の印象は、⑤と比べてどううでしょう。

⑥ ぼくは六時に起きた。ぼくは朝食を食べたくをして、七時半に家を出た。そして八時に学校に着いた。

⑥は⑤と比べて少しくどいように感じます。主語がない⑤の文が、うどいように感じます。読み進められるのではないのでしょうか。

## 文末の表現に着目する

次の文章の一文目と二文目のつながりをとらえましょう。

⑦ このモアイ像を、石切り場から運ぶために森林がぎざぎざとなつて、重さのある巨大な像を運んでゆくのに、森林から切り出された木が利用されたのである。

⑧ しかし、その繁栄は決して長くは続かなかった。太い木が切り出されてしまったからである。

⑦の二文目は、「森林がぎざぎざになつた」ことをくわしく説明しています。⑧の二文目は、「長くは続かなかった」こと

理由を説明しています。このように、文末に着目することで、文と文とのつながりをとらえることができる場合があります。

文の中にある主語と述語の関係は、修飾の言葉を使い分けることができます。

文の中にある主語と述語の関係は、修飾の言葉を使い分けることができます。

挑戦してみよう



## つなぐ言葉の使い分け

【教科書 P88～P89】



「つなぐ言葉」とは、前の文とのつなぎの働きをはっきりさせる働きがあります。  
「つなぐ言葉」には、教科書 P88 P89 のようにいくつかの種類があります。

(一) 「つなぐ言葉」に注意して選ぶようにしましょう。

1 兄は算数が得意だ。( ) に ( )

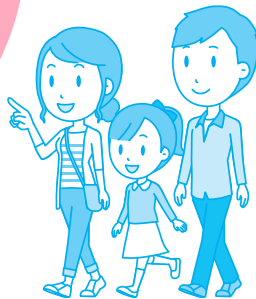
2 一生けん命勉強した。しかし ( )

3 遊園地に行きたい。なぜなら ( )

4 食べたいのはケーキですか。それとも ( )

ア テストの点はよくなかった。イ 国語も得意だ。

ウ 観覧車に乗りたいからだ。エ クッキーですか。





### 三 漢文に親しもう

【教科書 P70～P73】

みなさんは、「百聞は一見に如かず」という言葉を知っていますか。「人の話を何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうがよくわかる。」という意味です。ふだんの生活の中でも使われるこの言葉は、もとは中国から来た言葉です。

昔の中国では、次のように使われていました。

百聞不如一見

このような文を漢文といいますが、日本人は、漢文で書かれたことを理解するために、日本語として読むためのくふうをしました。ほかにも昔の中国で生まれた言葉はたくさんあり、私たちの生活の中で使われています。

(一) 次の漢文の意味としてふさわしいものを線で結びましょう。

1 聞 一 以 知 十

2 温 故 而 知 新 可 以 為 師 矣

3 不 入 虎 穴 不 得 虎 子

(虎穴に入らずんば 虎子を得ず)

- 言のこころをじっくりと聞き、そこに新しい考え方を加えていくこと、人の話をよく理解すること。
- 一つのことを聞いただけで、十のことをさとする。
- 大きな利を得るためには危険や負担を覚悟して行動しなければならない。



(二) 次の漢文からできた言葉の意、正しく線で結びましょう。

1 過ぎたるはおよばざるがごと

いよって都はこわされてしまったが、自然の山や河はずっと変わらず、町は春をむかえて、草木が生い茂っている。

2 春眠 暁を覚えず

やみすぎは足りないことと同じくらいよく

3 国やぶれて山河あり

城春にして草木深し

話がうまく、だれにでもい、をする人の中に、思いやりある人は、たにいない。

4 巧言令色、すくなし仁

よくで、い人をすれ、かを考え、

5 君子は義にさと、小人は利にさとる

来て、は暖か、ねご、が、朝が、かな、覚ます、かできない。

6 為さざるなり、あたわざるにあらざるなり

できないのはし、としていないからである。



見てみよう



NHK for School  
おはなしのくにクラシック  
「漢詩『春暁』」

漢文からできた言葉は、ほかにたくさんあるよ。





#### 四 場面に応じた言葉づかい

【教科書 P124 ～ P125】

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。次の二つの文を読み比べてみましょう。

・ 同級生に対して ↓ 「ねえ、えん筆、もいいかな。」

・ 先生に対して ↓ 「先生、えん筆、借りしてもいいですか。」

この場合、話す内容が同じでも、相手によって、敬語を使います。

「お借りする」は「借りる」の丁寧な言い方です。しかし、言葉づかいはいいなくても、使い方が適切でないと、相手にいやな印象を与えます。

・ 来客に対して 「駄目です。お借りできません。」と言うと、相手はどんな気持ちになるでしょうか。教科書を参考にして考えてみましょう。

(一) 次の場面では、どのような言い方をすればよいでしょう。

1 自分のおばあさんが言ったことを、老人会の代表者に伝える。

「おばあさんは、来週の敬老会は欠席すると言いました。」

2 卒業式にお祝いに来たお客さんを、体育館まで案内する。

「体育館はあっちです。わたしが、案内します。」



(二) 次の場面では、どのような言をすればよいでしょう。

から選んで、( )に書きましよう。

1 目上の人に図書への行き方をたずねる場面

( ) 図書館の地図を教えてください。

2 友達に何かしてもらいたいと思う場面

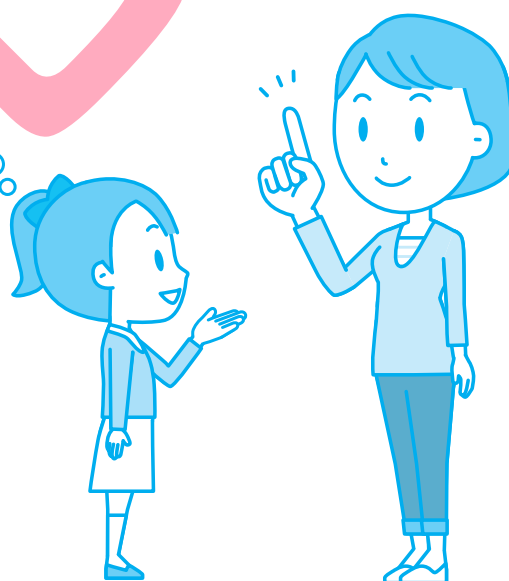
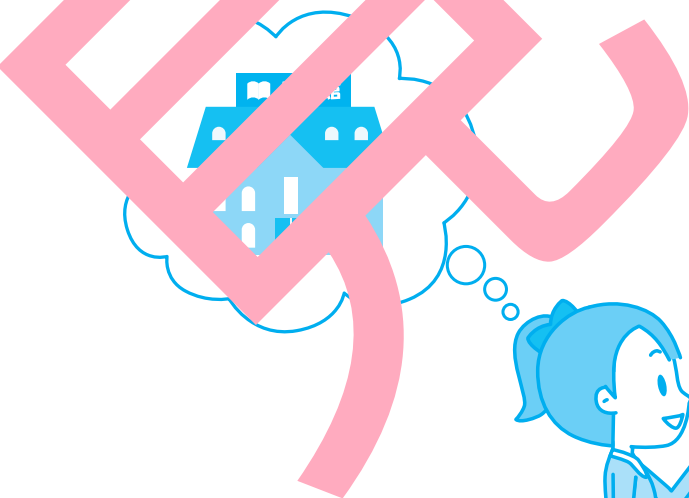
( ) あそこにある荷物を取って( )。

ア ちょっと、いいですか。

イ くれませんか。

ウ いただけませんか。

エ ちょっと、いいですか。



見てみよう



NHK for School  
お伝と伝じろう  
「目上の人と話すとき」



## 五 複合語

【教科書 P184 ~ P185】



① 見る 送る ↓ 見送る  
③ オレンジ ジュース ↓

右のように、①は和語、②は漢語、③は複合語です。  
② 家庭訪問 ③ オレンジジュース  
のような言葉を複合語といま

○和語と和語の組み合わせ

・ 筆箱 (筆の 箱) ・ 早

○漢語と漢語の組み合わせ

・ 特別価格 (特別な 価格)

○外来語と外来語の組み合わせ

・ デジタルカメラ (デジタルの カメラ)

② 家庭 訪問 ↓ 家庭訪問

③ オレンジジュース  
が組み合わせることで、①見送る  
った新 言葉が生まれる場合があります。こ  
複合語には、このような組み合わせがあります。

・ 事務所 (管理するための 事務所)

・ メロンジュース

(一) 次の言葉を組み合わせて、複合語を作りましょう。

- 1 話す 合う ↓ ( )
- 2 書く 表す ↓ ( )
- 3 紙の 飛行機 ↓ ( )
- 4 長い スポン ↓ ( )
- 5 テニス ラケット ↓ ( )
- 6 サッカー ボール ↓ ( )

の他に、複合語にはさまざまな言葉

桜前線 (桜の 前線)  
→ 和語 → 漢語

ピアノ教室 (ピアノの 教室)  
→ 外来語 → 漢語

輪ゴム (輪の ゴム)  
→ 和語 → 外来語

教室にあるピアノのことを「教室ピアノ」とは言わないね。



「野球少年」と「少年野球」は意味がちがうよね。





複合語を作るとき、元の言葉（単語）が変化する場合もあります。

○ 雨（あめ）＋ かさ ↓ まがさ

○ 酒（さけ）＋ 屋（や） ↓ 酒屋（かや）

○ 鼻（はな）＋ 血（ち） ↓ 鼻血（ち）

長くなった複合語は、短く縮めて表現する場合があります。

○ 入学＋試験 ↓ 入学試験 ↓ 入試

○ 万国＋博覧会 ↓ 万国博覧会 ↓ 万博

○ カーナビゲーション ↓ カーナビ

○ シャープペンシル ↓ シャーペン

(二) 次の複合語を短く縮めて表現しましょう。

1 高等学校 ( )

2 国際連合 ( )

3 パトロールカー ( )

4 エンスタストア ( )

5 エアークレイシヨナー ( )

パー ( )

日本には複合語がたくさんあるよ。  
中には複合語があるのか調べて  
しろいよ。





## 六 似た意味の言葉の使い分け

【教科書 P202～P203】

①兄はおせっかいだ。

②めんどくさいがよい。

①の文も②の文も、——線部——人のせいで、よくする様子を表す言葉が使われていますが、②の文の方がよい印象を与えます。——線部——のよう、よくする様子が似ている言葉でも、あたえる印象が異なる場合があります。

(一)

線部の表現に注意して、上手により印象をあたえる文に○を付けましょう。

1

( ) 君のように仕切りたがりの人がいると、物事が決まる。  
( ) 君のようにリーダーシップのある人がいると、物事が決まる。

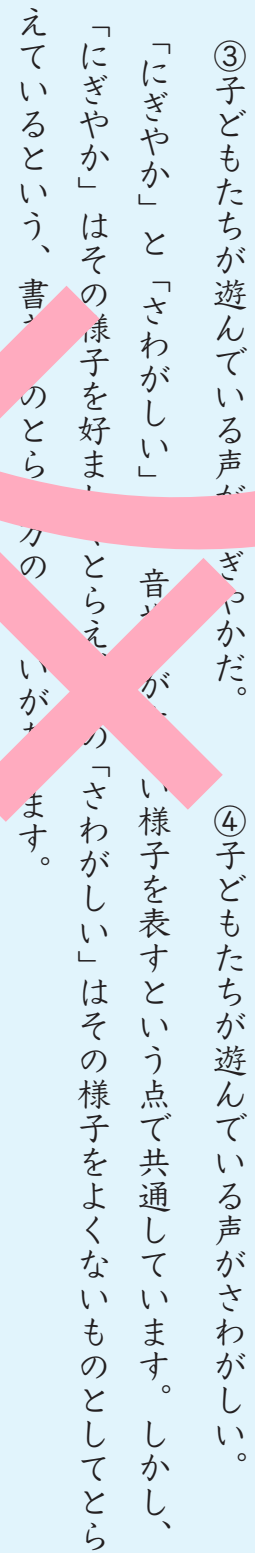
2

( ) 明日、ひまですか。  
( ) 明日、お時間ありますか。

3

( ) まだやっているなんて、あきらめが悪いなあ。  
( ) まだやっているなんて、ねばり強いなあ。





から選び、記号をきま。

君は何事にもでしゃばりな人ですね。

ア 強引な  
イ 積極的な  
ウ 目立たない

2 その洋服の色、とてもはですてきですね。

ア あざやかで  
イ 古めかしくて

流行  
くれで

3 そんなに小さくなるまでえんぴつを使うなんて、君って  
たね。（

ア しんぼう強いね  
イ しみったれだね  
ウ 物を大切にするんだね

意図を正しく伝える  
ためには、言葉の意味  
だけでなく、あたえる  
とき、その言葉  
の場にふさわしい言葉  
を選ぶ。





## 七 表現をくふうする

【教科書 P242～P245】

言葉を選び表現をくふうすることによって、自分の感じたことや思ったことを、より印象的に伝えることができます。

① 比喩を使う……あるものを別のものにたとえて、表現することによって、いきいきと様子を伝えることができます。

例 あゆの雲はわたあめのように、人生とは甘いものである。 風がささやいた。

② 言葉の順番を入れかえることで、印象を強めることができます。

例 おいしいね、このお店。 あの人だったの、私を助けてくれたのは。

③ 言葉をくり返す……同じ言葉をくり返すことで、印象を強くすることができます。

例 前へ前へと進んでいく。 会いたい。はやく会いたい。

(一) 次の文の中で、比喩を用いているものには①、言葉の順番を入れかえているものには②、言葉をくり返しているものには③を書きましよう。

1 かのじよのはだは雪のように白い。 ( ) 2 これはきいた。 きな声で言った。 ( )

3 小鳥たちが歌う。 ( ) ついに終わった、夏休みが。 ( )

5 青く青くすみわたる空。 ( ) 6 書架の山ができている。 ( )



(二) 次の文を、比喩<sup>ひよ</sup>を使った表現に書きかえましょう。

1 妹のほおは赤かった。

2 雨がたくさん降<sup>ふ</sup>って

(三) 次の文を、言葉の順番を入れかえる前の文にしましょう。

1 待ってください、そのジュースを飲むのは。

2 がんばれ、きつとうまくいくはずだから。



参考にしよう



東広島市「詩のポイント」

読み手にあたえる  
印象を考えながら、  
自分の文章にも表現  
のくふうを取り入れ  
てみましょう。



# 八 六年間の復習

◎ これまでのことばのきまりで学んだ内容の問題です。復習してみましょう。

一年生

(一) 絵を見て、合う言葉を書きま



おね  
さん

お

かきご  
り

れ  
こ

(二) 次の□の中に、「は・わ・へ・え・お」のどれかを書きましよう

1 わたし□、か□いい動物が好きで

2 お母さん□、みがきをします

3 ぼくは、一人で家□帰りま

4 わたしは、公園□妹をわか

5 ぼくは、ねこにかつ□ぶし□やりま

6 手□しっかり上げて横断しましよう。

を・お

へ・え

は・わ



ひらがなで書くときに

「お」と書く言葉には

こんなものがあるよ。

「とおくのこおりの上を

とおきな おおかみ

とお とおる。

(十ひき)

とおくの こおろぎ

とおあわて。」

こんな 植物も あるよ。



ほおずき



(三) 次の〔 〕の中は、どちらが正しいでしょう。よい方を○で囲みましょう。

1 ぼく 〔 わ は 〕、せみ 〔 お を 〕つか 〔 え に、裏山 〕え 〔 へ 〕行きました。

2 ライオンは、〔 か とり 〕の 〔 え さ 〕を食べています。

3 〔 わたし はたし 〕は、〔 え へ 〕弁当 〔 お を 〕持って来ました。

(四) 次の漢字の、( )の上に書いてある以外の読み方を書きなさい。

一日 いちにち ( )

三日 さんにち ( )

五日 ごにち ( )

七日 しちにち ( )

九日 くにち ( )

二十日 にじゅうにち ( )

二日 にち ( )

四日 よにち ( )

六日 ろくにち ( )

八日 はちにち ( )

十日 じゅうにち ( )



八日と十日の読みがなはまちがいが多いよ。  
一年生の学習を思い出して正しく覚えよう。



(一) ———— のことはの書き方が正しい方に○をつけましょう。

|             |           |            |             |
|-------------|-----------|------------|-------------|
| 3           |           | 1          |             |
| ( )         | ( )       | ( )        | ( )         |
| くつがぴかぴかひかる。 | くつがピカピカひか | 石ころが池に     | 石ころが池にぽちゃん  |
|             |           | ヤン         | ちた。         |
|             |           | おち         |             |
| 4           |           | 2          |             |
| ( )         | ( )       | ( )        | ( )         |
| 星がキラキラか     | 星がキ       | 時計がりんと鳴った。 | 時計がリーンと鳴った。 |
| いてる。        | がやいてる。    |            |             |

(二) 次の漢字の点線の部分は何画目でしよう。何画目か

|     |     |
|-----|-----|
| 遠   | 火   |
| ( ) | ( ) |
| 早   | 中   |
| ( ) | ( ) |
| 長   | 大   |
| ( ) | ( ) |
| 左   | 右   |
| ( ) | ( ) |

音はかたかなで、  
様子はひらがなで  
書くよ。



(三) 反対の意味になる言葉を書きなよう。

1 強い

4 短い

7 貸す

2 重い

6 軽い

8 のびる

3 熱い

6 明るい

7 開ける

(四) 次の物を数えるときには、どんな言葉を後につければいいでしょう。

1 えんぴつ

4 くつ

7 本

2 りんご

5 いす

8 うさぎ

下じき

とうふ

9 自動車



(一) 「高い」を、必要ならば文に合( )のように形を変えて( )の中に書きましょう。

1 もっと( )とびい。

2 気温が( )日( )。

3 フェンスが、もう少し( )川に落ちなくてすんだのに。

(二) ———— の言葉は、どれ( )でしょう。( )の中から選んで( )で囲みましょう。

1 向こうから大きなトラックがやってきた。それを見た店( )。

( 向こう ・ 大きなトラック ・ 店の人たち (表) )

2 机の上にえんぴつがあります。それを取って( )。

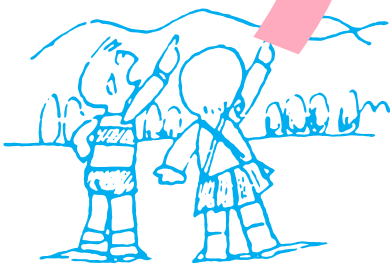
( 机 ・ 上 ・ えんぴつ )

3 「遠くに丸いものが見えるね。」「あつ、本当。」「はい、何か( )」

( 遠く ・ 丸いもの ・ いったい )

4 きれいな花がさいています。これを妹にプレゼントしよう

( きれいな花 ・ 妹 ・ プレゼント )



(三) 次の言葉の意味は下のどれに近いですか。線で結びましょう。

- |   |         |   |                        |
|---|---------|---|------------------------|
| 1 | さじを投げる  | • | どうにできないこと。             |
| 2 | 水に流す    | • | のがないとあきらめること。          |
| 3 | 手も足も出ない | • | 今までのことをすべてなかったことにすること。 |
| 4 | しびれを切らす | • | 勢いのままに、さらに勢いを加えること。    |
| 5 | 火に油を注ぐ  | • | 待ちくたびれて、がなくなるまで待つこと。   |
| 6 | 目が回る    | • | 非常にいそがしいこと。            |

(四) ローマ字で書きましょう。

- かわ \_\_\_\_\_
- はる \_\_\_\_\_
- みかん \_\_\_\_\_
- おんぷ \_\_\_\_\_

(五) 次のローマ字をひらがなで読みましょう。

- chokintō ( )
- kappa ( )
- yakyū ( )
- hon'ya ( )



(六) 次の部首の名前を書きましょ

1

へん

ネ ネ 尸 言 シ 禾 木 イ

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

4

あし

心 ハ 尸 艹 艸 欠

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

7

れ

よう

5

かまえ

疒 厶 广 走 辶 問 回

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )



(七) 次の( ) に漢字を書きまなう。

1 た・つ  
波が( )  
ビルが( )

3 か・わる  
だんだん色が  
父に( )  
わつ( )  
ぼくが( )

5 はじ・めて  
日記を( )  
めて三年たった。

2 あつ・い  
とても( )  
( ) いお茶を飲む。  
( ) い本を読む。

4 はや・い  
まだ時間が( )  
走るのが( )  
い。

6 け  
席を( )  
夜が( )  
を( )  
ける。  
ける。  
ける。

# 四年生

(一) 例のように、主語には――を、述語には――を、

〈例〉白い 花が 花だんに さいた。

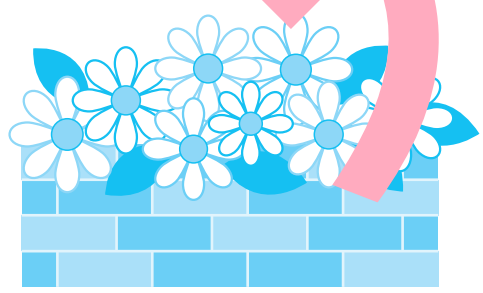
1 き・う 雨が 降った。

2 おばあさんが わたしに かわいい かばんを した。

3 山下さんの 家族も とても にぎやかだ。

4 ぼくの 持っている 筆箱は 新しい。

5 教室には、机が たくさん ある。





(四) 次の文章を、「      」の意味、      につきりするように読点を打ち、書き改めましょう。

姉は楽しそうにおどる妹をた

〔楽しそうにしているのがたまたまの場合〕

「楽しそうにしている。」

(五) 次の文の主語には――、述語には――、修飾語には――を引いて答えます。

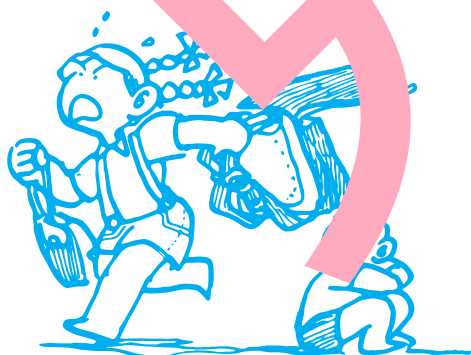
~~~~~  
 はどの言葉を修飾しよくしているか  
 □  
 ←で示しましょう。

〔例〕妹は、あわてて行った。

わたしはよく笑う。

2 強<sup>ワカ</sup>そう<sup>ナ</sup>な 黒<sup>クロ</sup>い 牛<sup>ウシ</sup>が 急<sup>ワカ</sup>に 出<sup>デ</sup>て<sup>タ</sup>き<sup>タ</sup>た。

3  
びっくりした  
少年は  
とつぜん  
大声で  
泣き出した。



(一) 次の文を  の関係になるように書きかえましょう。

雨が降った。だから祭りは中止になった。

1 逆接

2 仮定

3 逆接の仮定

(二) 次の主語と述語が二組ある文を、一つの文にまとめましょう。

1 ぼくが えんぴつを買った。 えんぴつが折れた。

2 妹が 花を植えた。 これは その花だ。

(三) 次の文の主語には――、述語には――をそれぞれ書き入れ、また、つなぐ言葉や

指し示す言葉を用いて、二つの文に分けましょう。

1 ぼくが 植えた 花が さいた。

2 わたしは 兄が とってきた カブトムシを見た。



(四) 次の文中の――の言葉を尊敬語に直し、左の□から選んで、( ) に記号を書きましよう。

1 おばさんが人形をくれた。

2 校長先生が話をする。

3 お医者様が言ったこと。

4 お客様が買った洋服。

5 今日、家に先生が来る。

6 お客様が食べるおかし。

ア おっしゃった  
エ くださった

イ いらっしゃる  
ウ めしあがる

カ お買いになった

(五) 次にあげる言葉を「……る」「……する」のような形の尊敬語にしましう。

1 来る ( )

2 飲む ( )

3 立つ ( )

4 ( )

(六) 次の文中の――の言葉をけんじよう語に直し、□から選んで、( ) に書きましよう。

1 弟が、明日行きます。

2 おじいさんがメラをくれた。

3 校長先生の絵を見る。

4 何も言いません。

5 そのことでしたら、聞いています。

申し上げる

いただいた

参ります

つかがって

拝見する



(七) 熟語の構成を考え、          の中の語を仲間に分けましょう。

1   にた意味を表す漢字を組み合わせたもの

(            )            (            )            (            )

2   意味が対になる漢字を組み合わせたもの

(            )            (            )            (            )

3   上の漢字が、下の漢字を修飾したもの

(            )            (            )            (            )

4   上の漢字が動作を、下の漢字がその動作を表すもの

(            )            (            )            (            )

5   上の漢字が下の漢字の意味を打ち消しているもの

(            )            (            )            (            )

(八) 次の語の読みがなを書きましょう。

また、漢語には1、和語には2を、

〈    〉の中に書きましょう。

1   通 知    〈            〉            2   花 火    〈            〉

3   個 人    〈            〉            4   開 店    〈            〉

5   家 根    〈            〉            6   屋 根    〈            〉

7   野 心    〈            〉            8   休 日    〈            〉

|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 乗馬 | 絵画 | 開閉 | 早春 | 黒板 | 無効 |
| 利害 | 海洋 | 直線 | 不安 | 投票 | 出発 |
| 開会 | 未知 | 有無 |    |    |    |



(一) 次の熟語はどう分けられるでしう。のちから選んで、その記号を( )の中に書きましよう。

1 衣食住 ( )

2 学期 ( )

3 上中下 ( )

4 字 ( )

5 満足感 ( )

6 行 ( )

7 天地人 ( )

(二) 次の文の中で、比喩を用いているものには①、言葉の順序を入れかえているものには③を書きましよう。

1 かのじよのはだは雪のように白い。 ( )

2 かれは言った。な声で言った。 ( )

3 小鳥たちが歌う。 ( )

4 ついた。夏休みが。 ( )

5 青く青くすみわたる空。 ( )

6 書の山ができている。 ( )

ウ ( ) 一字の語が三つならぶ

イ ( ) 二字熟語＋一字の語

ア ( ) 一字の語＋二字熟語



(三) 次の言葉の  の中に、下  から合うものを選んで書きましょう。

1  関心

2  完

3  可能

4  公式

8  常識  解決

7  意味

8  自

(四) 次の言葉につくものを下の  から選んで書きましょう。

1 共通

2 科学

3 機

4 芸術

5 代表

6 可能

化 的 性

未 非 無 不



## 漢字でしりとり

開  —   —  魁 会

納  —   隅

優  —   湯

座  —  星   —  席

令和8年版 ことばのきまり 6年

編集 「ことばのきまり」編集委員会  
岡崎教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会  
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1  
電話 0564-51-4819

印刷 有限会社岡崎活版所

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。



名前

年

組

観察